

平成30年3月期
決算説明資料

YOSHITAKE 

JASDAQ

Listed Company 6488



平成30年3月期 決算概要

平成30年3月期の総括



国内経済は個人消費においては堅調な雇用・所得情勢を背景に緩やかに回復し、企業においては設備投資や輸出、生産等も持ち直しの動きが継続するなど堅調に推移し、全体として緩やかな回復基調で推移しました。今後については、世界経済の持ち直しなど更なる回復基調が期待されるものの、米中の貿易摩擦をめぐる緊張感の高まり等により海外経済は依然不確実性をはらんでおり、近隣諸国における地政学リスクへの懸念も依然として予断を許さない状況が続いております。

当社グループにおいては、経営の効率化と業績の向上に努めるべく、海外販路の拡大や提案型営業の推進などに取り組み、国内外のマーケットへ向け営業活動を強化してまいりました。国内顧客向け販売においては工場設備市場を中心に蒸気配管向け製品の好調などもあり堅調に推移しました。また海外顧客向け販売においては、過去最高売上を達成し、特に中国や東アジア地域での販売を大きく伸ばすなど、販売活動全体としては好調に推移しました。

当社グループは一丸となり、引き続き積極的な提案営業を展開いたしました結果、連結売上高は67億87百万円となり、前期に比べ5.9%の増加となりました。

損益面では、営業利益は6億93百万円(前期比8.8%増)、経常利益は8億47百万円(前期比0.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は6億47百万円(前期比4.2%増)となりました。

1. 工数低減やコスト削減の徹底による売上総利益の増加
2. 米国関連会社の減益に伴う、持分法による投資利益の減少
3. 円高進行による為替差損の増加

平成30年3月期の連結貸借対照表



(単位: 千円)

	前期	今期	増減額
流動資産	6,307,406	6,952,916	645,510
有形固定資産	3,403,624	3,788,175	384,550
無形固定資産	49,085	70,286	21,200
投資その他資産	2,489,038	1,913,682	△ 575,355
固定資産	5,941,748	5,772,144	△ 169,604
資産合計	12,249,155	12,725,061	475,906
流動負債	1,273,641	1,155,471	△ 118,169
固定負債	913,199	838,601	△ 74,598
負債合計	2,186,840	1,994,073	△ 192,767
純資産合計	10,062,314	10,730,988	668,674
負債純資産合計	12,249,155	12,725,061	475,906

連結貸借対照表主な変動要因



流動資産の増加

投資有価証券から有価証券へ科目の振替により増加
たな卸資産の増加

有形固定資産の増加

設備投資による機械装置及び運搬具の増加

投資その他資産の減少

投資有価証券から有価証券へ科目の振替により減少

流動負債の減少

未払法人税等の減少

純資産合計の増加

親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が増加

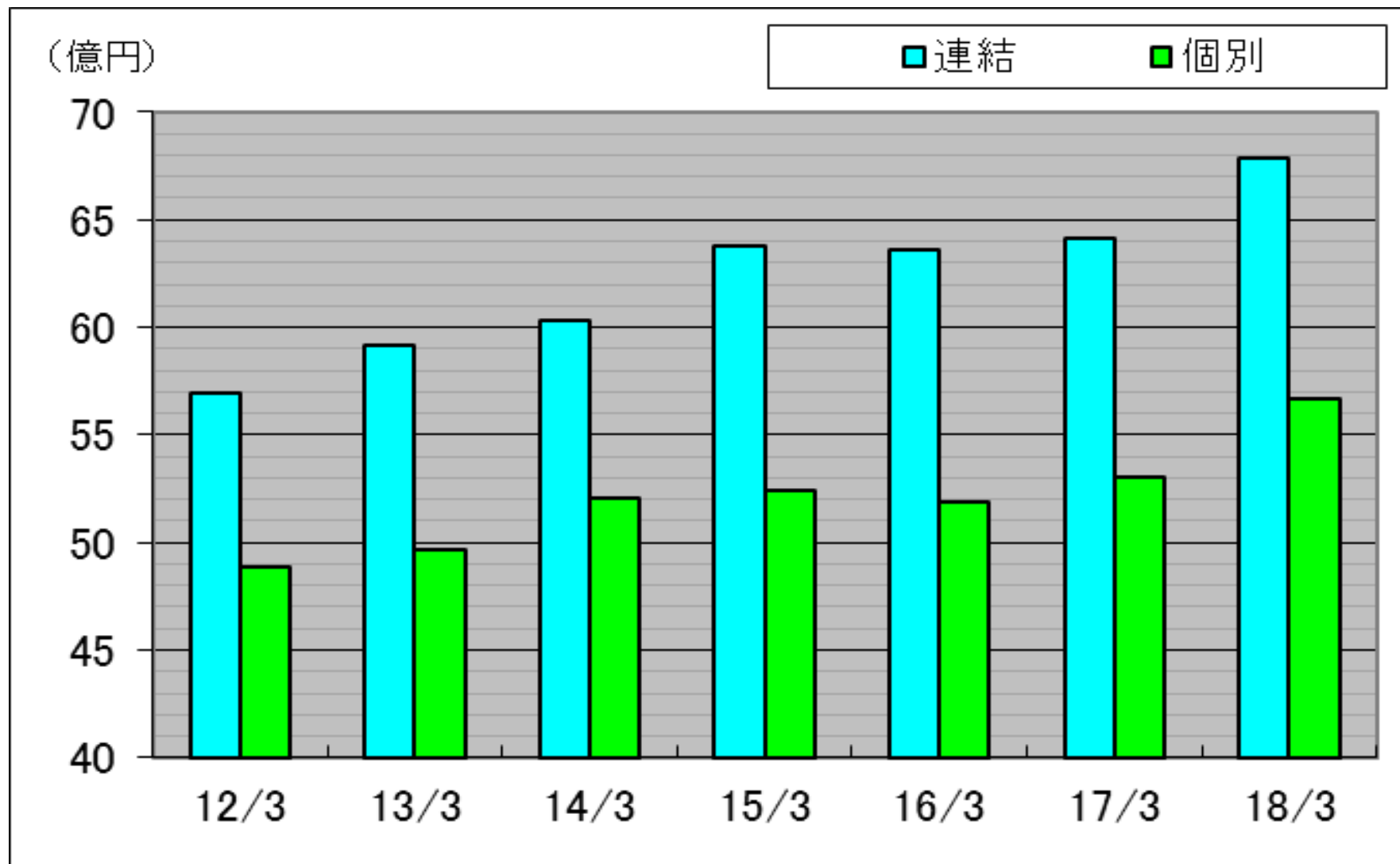
平成30年3月期の連結損益計算書



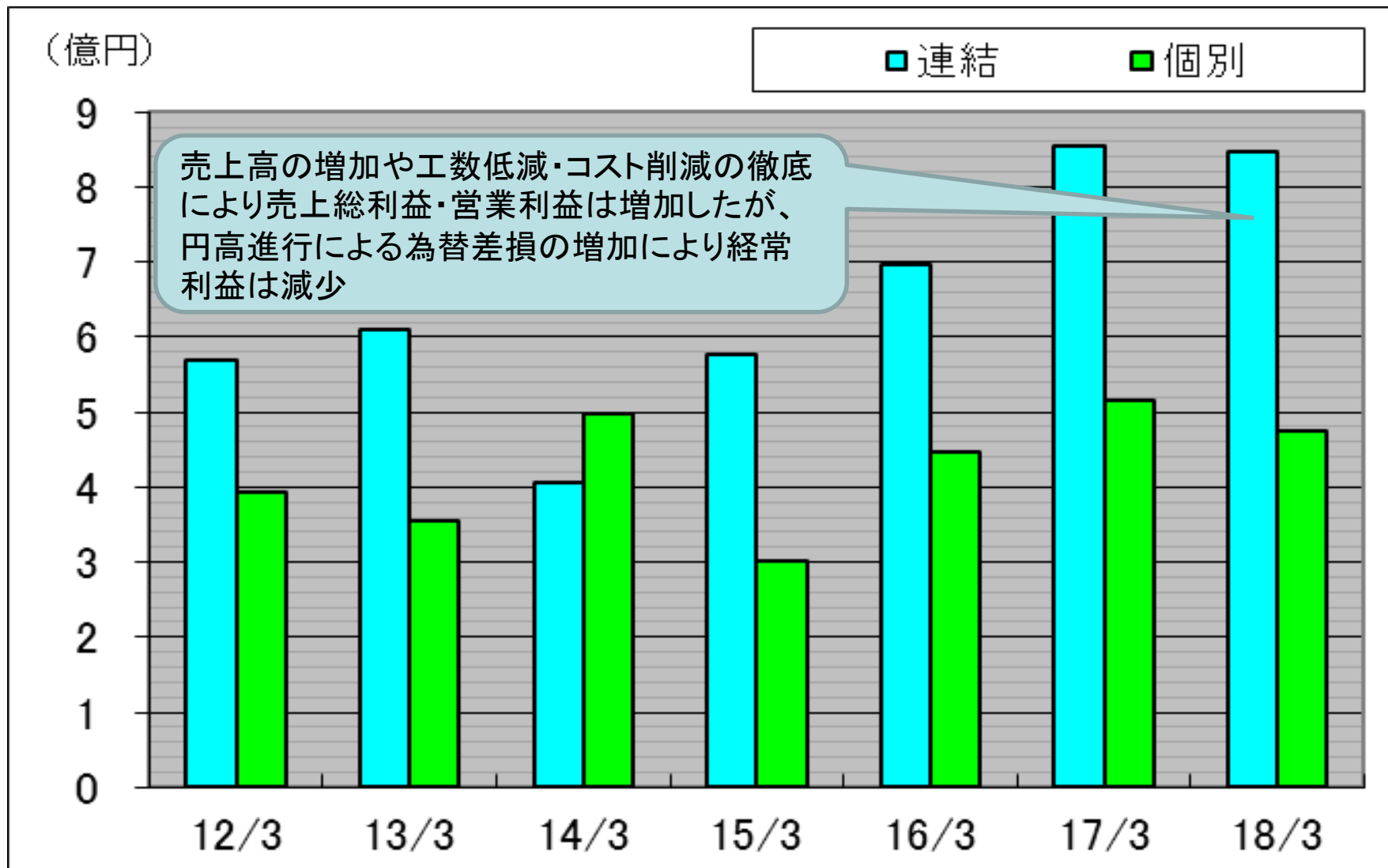
(単位: 千円)

	前期	今期	増減額
売上高	6,412,394	6,787,922	375,528
売上原価	3,754,919	3,982,771	227,852
売上総利益	2,657,474	2,805,150	147,676
販売費及び一般管理費	2,020,289	2,111,788	91,499
営業利益	637,185	693,362	56,177
営業外収益合計	265,541	229,133	△ 36,407
営業外費用合計	48,480	75,107	26,627
経常利益	854,246	847,388	△ 6,857
税金等調整前当期純利益	854,246	847,388	△ 6,857
法人税、住民税及び事業税	202,309	182,526	△ 19,783
法人税等調整額	22,330	8,448	△ 13,882
当期純利益	629,606	656,414	26,808
非支配株主に帰属する当期純利益	8,313	9,142	829
親会社株主に帰属する当期純利益	621,292	647,271	25,979

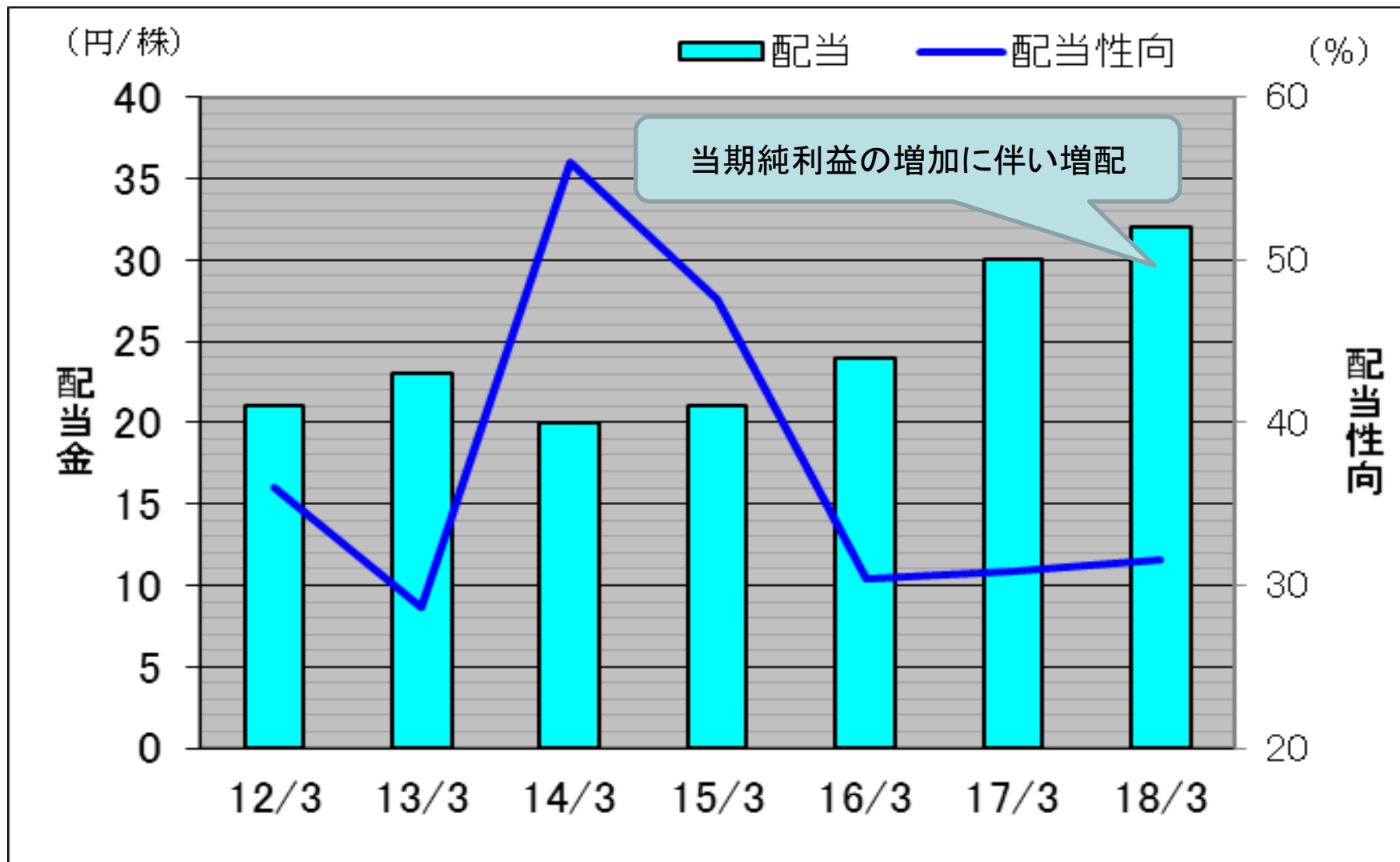
売上高の推移



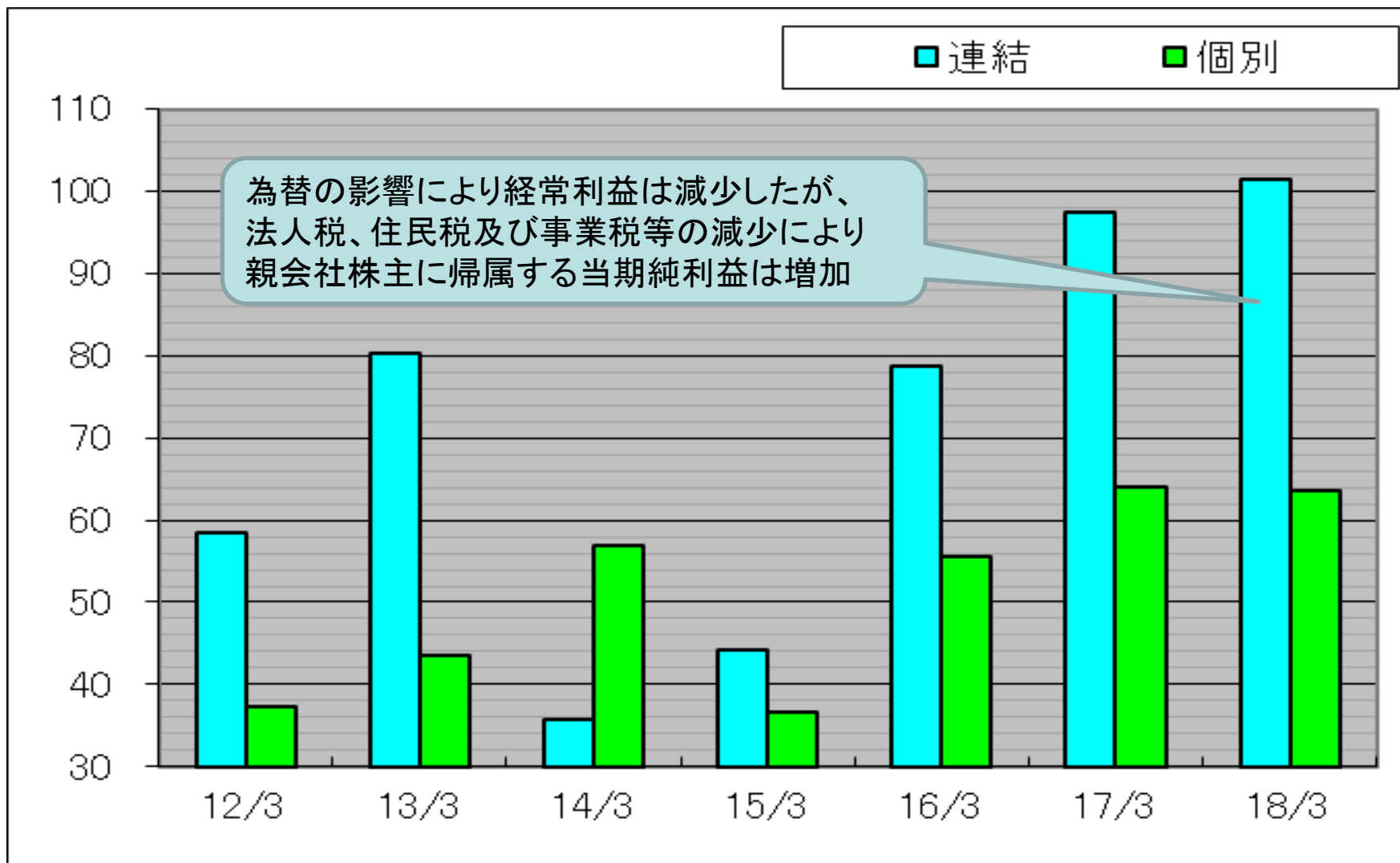
経常利益の推移



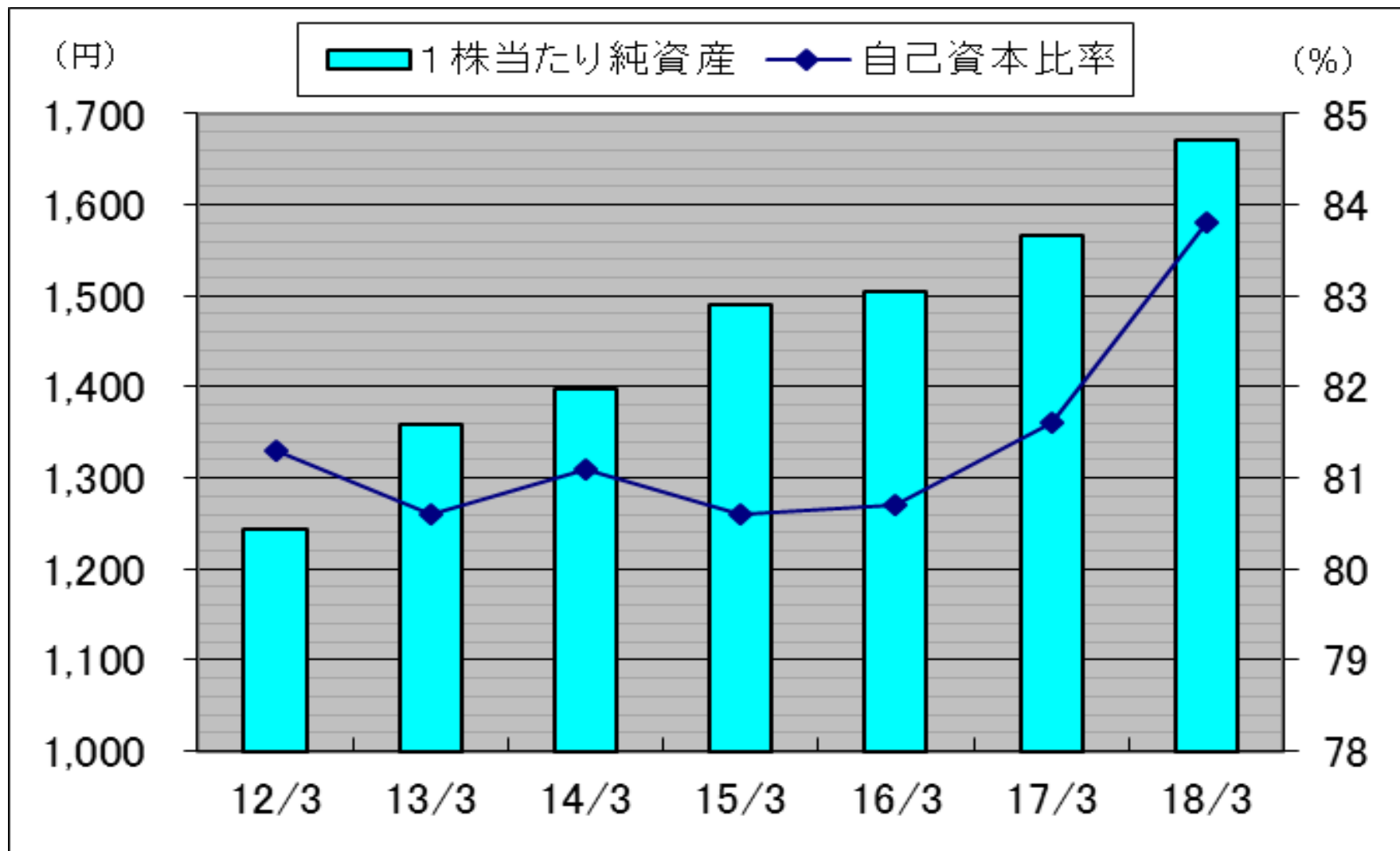
1株当たり配当の推移



1株当たりの当期純利益の推移



1株当たり純資産(連結)の推移



関係会社の業績は好調です。



子会社、持分法適用会社(関連会社)は業績好調です。

Yoshitake Works (Thailand) Ltd.	100%所有	(タイ国における製造子会社:各種バルブ製造)
カワキ計測工業株式会社	100%所有	(日本における製造子会社:流量計の製造)
宏洋サンテック株式会社	100%所有	(日本における販売子会社:ドイツGEMU社製品の販売)
ヨシタケアームストロング株式会社	50%所有	(日本における販売子会社:米国アームストロング社製品の販売)
Armstrong Yoshitake, Inc.	50%所有	(米国における販売関連会社:当社製品の販売)
Everlasting Valve Company, Inc.	50%所有	(米国における製造関連会社:特殊バルブの製造)



平成31年3月期 業績予想

平成31年3月期業績予想



(単位:千円)

	今期	来期予想	増減額
売上高	6,787,922	7,000,000	212,078
営業利益	693,362	730,000	36,638
経常利益	847,388	950,000	102,612
税金等調整前当期純利益	847,388	950,000	102,612
親会社株主に帰属する当期純利益	647,271	700,000	52,729

平成31年3月期業績予想の概要



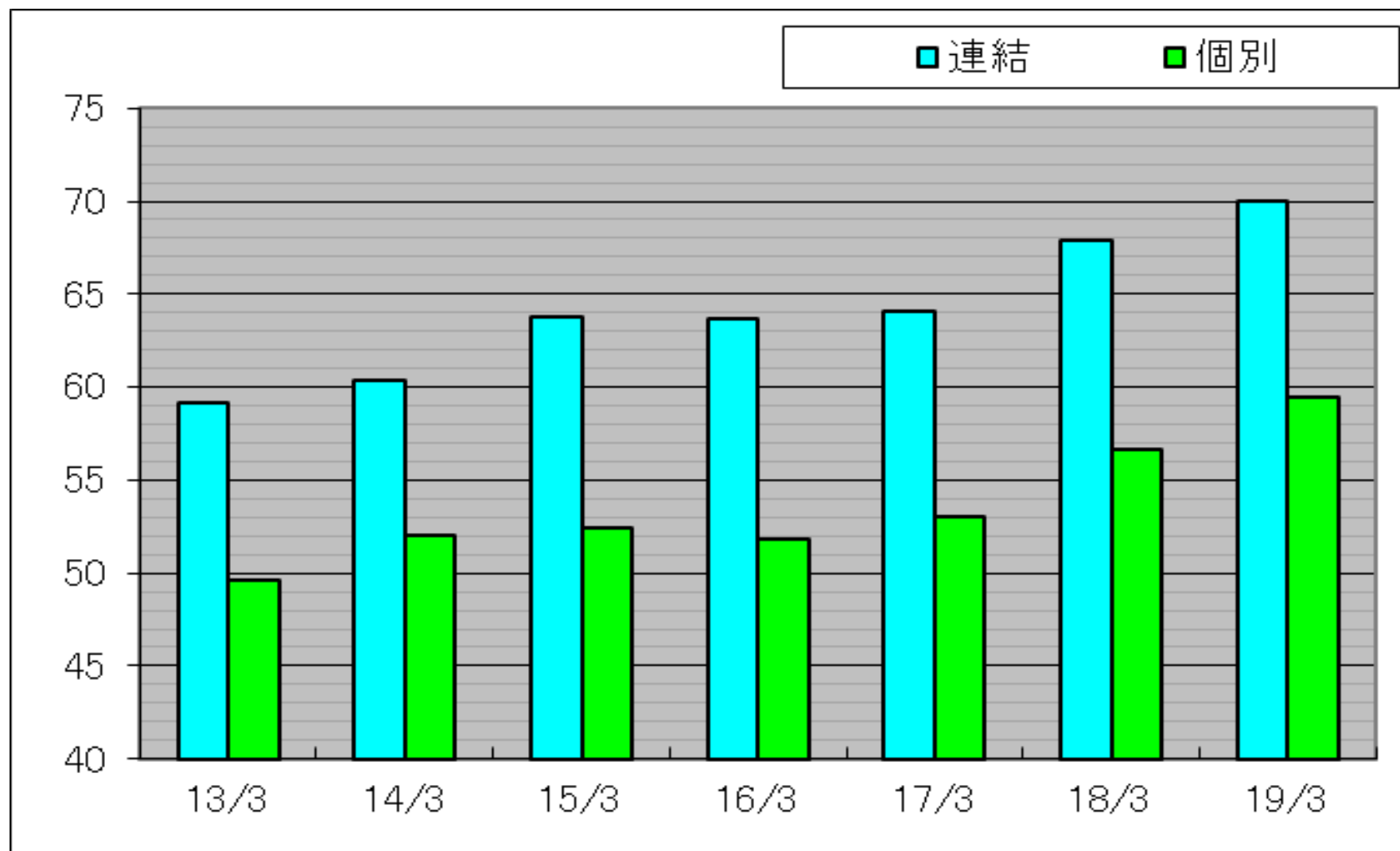
連結売上高：

国内、海外ともに不透明性があるものの緩やかながら回復基調が継続すると見られる中、より高度な提案営業を推進していく中で収益構造は改善を継続すると見込まれ、連結売上高は70億円(当期比3.1%増)を予想しております。

損益：

景気回復に伴う物価上昇が素材価格に与える影響など懸念があるものの、当社グループ一丸となり生産活動全体の合理化とコストダウンに取り組む所存です。

売上高の推移



対処すべき課題



継続的な成長を目指して次のような課題に取り組み、
経営の効率化と業績の向上に努めてまいります。

1. 海外販路の拡大
2. 建築設備物件の受注率の向上
3. 提案型営業の推進
4. 生産リードタイムの短縮
5. 生産キャパシティの拡大

配当政策

当社は「株主に対する配当額の決定は最重要政策のひとつ」と考えており、基本的には利益に対応して配当性向30%以上を目標に配当額を決定する方針です。

当期の配当予想は、業績予想の結果を勘案し、前期に比べて1円増配とし、1株当たり33円とさせていただきました。

企業理念



フェア ビジネス

Y's a Business of Fair Endeavor

当社が掲げる企業理念は「フェアビジネス」。

いつでも、どんな時にも、誰に対しても常にフェアに行動します。

そして、コーポレートガバナンスやコンプライアンスはもとより、誠実なプロポーザル&ソリューションをお客様に提供することも、私たちが考えるフェアビジネスの条件です。



本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをお含みおき下さい。